

1-1 インターネットについて

インターネットは日常に根付いて、もはや“当たり前”の時代ですが、それだからこそ利用方法や注意点について知っていることが重要です。

このテキストでは、インターネット閲覧用ソフトの代表である Internet Explorer を利用して、インターネット利用について基本から学習することを目的としています。

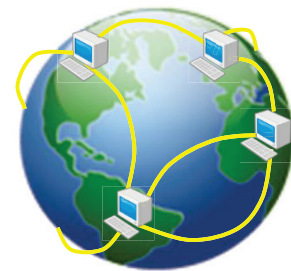
1-1-1 インターネットの概要

インターネットは世界中のコンピュータネットワークを相互に接続した巨大なネットワークです。

もともとは数か所のコンピュータをつないで始まったネットワークが、次第に規模を広げ、大きく成長していきました。

現在では、企業や大学、通信事業者（ISP…プロバイダー）等のネットワークがつながって、インターネットを形作っています。

※ISP…一般の利用者がインターネットを利用する場合に契約する接続代行の通信事業者。プロバイダー。



1-2 インターネットで行えること

まずはインターネットでどんなことができるのか、簡単に確認してみましょう。

1-2-1 ホームページの閲覧

ホームページ（Web ページ）とは、インターネット上に公開されている情報のページのことを言います。企業や団体だけでなく個人のホームページなども多くあり、その情報量は他のメディアを圧倒します。世界中のさまざまな情報をホームページで知ることができます。



▲企業や店の紹介



▲公共機関

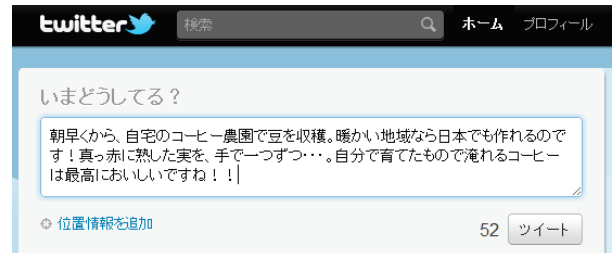
1-2-2 電子メールや SNS などでのコミュニケーション

インターネットを通じて、他の方とコミュニケーションを取ることができます。例えば、メールではインターネットを通じて文章だけでなく、写真やパソコンで作った各種ファイルも一緒に添付して送ることができます。



また、Twitter（ツイッター）や Facebook（フェイスブック）など、SNS（ソーシャルネットワークサービス＝人間的交流型 WEB サービス）も大変人気で、利用者も数多くいます。

現在では、このようなコミュニケーションサービスは、老若問わずインターネット上の代表的な利用方法のひとつとなっており、ご利用をお勧めします。



1-2-3 電子取引（オンラインショッピング、バンキングなど）

インターネットのホームページは閲覧するだけではありません。ホームページ上で販売されている商品を購入したり、電車や飛行機のチケットを予約したり、ホテルの宿泊予約などもホームページから行うことができるようになっています。



似通ったサービスとしては、銀行取引（オンラインバンキング）や証券取引（オンライントレード）などもあります。

ただし、自分の名前や住所などの情報、またクレジットカードの情報などを入力することもあり、そういった情報が流出したり、悪用されたりしないかどうか、サービスの利用時には注意も必要です。

1-2-4 自分のホームページの開設

インターネットは情報・サービスを受けるだけのものではありません。自分から情報やサービスを発信することもできます。

趣味のホームページを作って仲間を募ったり、お店の商品を販売したりすることもできます。

ホームページを作るには特別な知識が必要ですが、最近では簡単に情報発信ができるブログ（インターネット上の日記のようなもの）なども一般的になっており、簡易的なオンラインショッピングサイトも簡単に作れることから、商用にも活用されています。



1-2-5 インターネットに接続する前に（セキュリティ）

インターネットは大変便利ですが、接続している間、あなたのパソコンは世界に向けて公開されている状態になります。

そのため、悪意を持った他のユーザーからのいたずら攻撃、詐欺行為などに遭う可能性もあります。

その対処には、最低限の準備として「セキュリティソフト」を導入、加えて「ルーター」と呼ばれる機器を使うほうが良いと言われています。

Check! セキュリティソフト(ウィルス&マルウェア・スパイウェア対策ソフト)

セキュリティソフトとは、インターネットの上の様々な脅威からお手持ちのパソコンを守るためのプログラムで、通常、購入時に数カ月から一年間ほどの利用期間を設けた上で組み込まれています。ただし期限が定められているため、更新を忘れていたりするとせっかくの効果が悪くなってしまい、攻撃にあってしまうことが考えられます。

そのため、Windows8.1では

「Windows Defender」と呼ばれるプログラムが標準で用意されており、ユーザーは意識をしなくても最低限守られている状態です。

しかし、企業での利用の方や個人でも重要なデータを扱うような方は、ぜひ下記のルーターと合わせて、専用のセキュリティソフトを用いることをお勧めします。



Memo > = J J

ルーターとは、インターネットとお使いのパソコンに間に挟んで利用する装置で、外部の脅威からパソコンを守ったり、複数のパソコンをインターネットに接続したりするために利用するものです。インターネット接続時契約の際に配布された機器そのものがルーターの役割をするものもあります。気になる方は、ご契約のプロバイダーに、ご自身の環境にルーターが含まれているか確認してみてください。

ルーター自体は、パソコン売り場で、数千円程度で購入できるものが大半です。ぜひ、導入されることをお勧めします。



1-3 ブラウザー

インターネットの情報を見るには、閲覧用のソフト「ブラウザ」が必要です。

1-3-1 ブラウザーとは

ブラウザとは、ホームページを閲覧するとき使用するプログラムのことです。

「Internet Explorer（インターネットエクスプローラー）」はWindowsに標準搭載されているブラウザです。そのため、回線さえ接続していれば、すぐにでもホームページを見ることができます。

本書は「Internet Explorer」、略称「IE」を利用して進めていきますが、世界的には下記のMemoにあるように、他のブラウザのシェアが高いため、インストールして試してみるのもよいでしょう。操作方法はそれほど大きく変わりはありません。



Memo その他のブラウザ

Internet Explorer 以外には、次のようなブラウザがあります。

■Google Chrome

後述の検索サービスでも有名な Google 社が開発したブラウザです。

Google 社の各種サービスをよくご利用される方は連携しやすいため便利です。

■Mozilla Firefox（Mozilla Foundation）

古くから歴史のあるブラウザの流れを汲むため世界的に利用者も多く、ブラウザ自体に様々な機能を追加・拡張できる「アドオン」が充実しています。

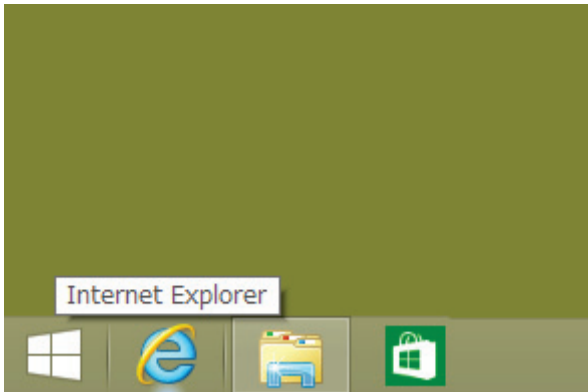
これらのブラウザは、すべてインターネット上で無料配布されていますので、ある利用方法に慣れた方は、自分自身の用途にあったものを使ってみるのも良いでしょう。

1-3-2 ブラウザーの起動 (Internet Explorer)

まずはブラウザー (Internet Explorer) を起動させましょう。

ここでやりたい内容は

Internet Explorer9 を起動させましょう。



①

《タスクバー》の
《Internet Explorer》ボタンをクリックしましょう。



画面上に Internet Explorer が起動します。
このときに表示されるホームページはパソコンによって違います。
《タスクバー》の《Internet Explorer》ボタンが、プログラム起動中を示す状態に変化します。

Memo 「Windows 用に作られたブラウザーをお試しください」と表示される

IE を起動すると、図のように「Windows 用に作られたブラウザーをお試しください」と表示される場合があります、これは前述した他のブラウザーが、そのパソコンでインターネットを閲覧する既定のブラウザーとして設定されているからです。

特に不都合が無ければわざわざ IE を既定にする必要はないのですが、この画面が何度も表示されるのが気になる方は「設定しない」を選ぶと良いでしょう。

もちろん、「既定のブラウザーにする」で変更してもかまいません。

気に入らなければ、改めて既定のブラウザーを変更することができます。

Windows 用に作られたブラウザーをお試しください



Internet Explorer を既定のブラウザーに設定しましょう。高速に動作する、タッチに最適な全画面ブラウザーをお使いいただけます。

既定のブラウザーに設定する

設定しない

1-3-3 Internet Explorer の画面構成

Internet Explorer の画面構成を確認しましょう。



- ① 《ワンボックス》 アドレスバーと検索ボックスを兼ねた領域です。
- ② 《戻る・進むボタン》 ページを戻ったり、進んだりして閲覧することができます。
- ③ 《タブ》 複数のページを切り替えながら閲覧することができます。
- ④ 《新しいタブの作成ボタン》 新しいタブを作成することができます。
- ⑤ 《ホームボタン》 設定された最初のページに戻ります。
- ⑥ 《お気に入り（フィード）（履歴）》 お気に入りや履歴、フィードなどが利用できます。
- ⑦ 《ツール》 印刷や保存、各種設定などが行えます。

Check! ワンボックス

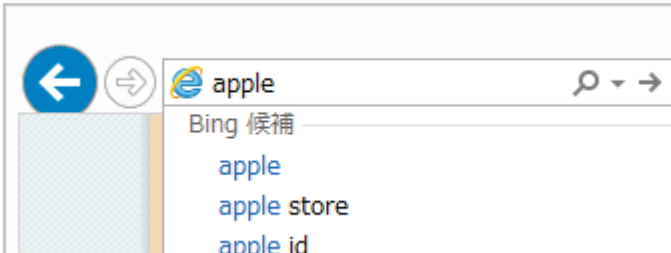
《ワンボックス》とは、そのページの場所を占めずアドレスの表示、入力を行う《アドレス バー》としての役目のほか、キーワードを入力し検索をする《検索ボックス》、履歴やお気に入りなどを表示できる場所になっており、操作の中心となります。

【アドレス バー】として利用

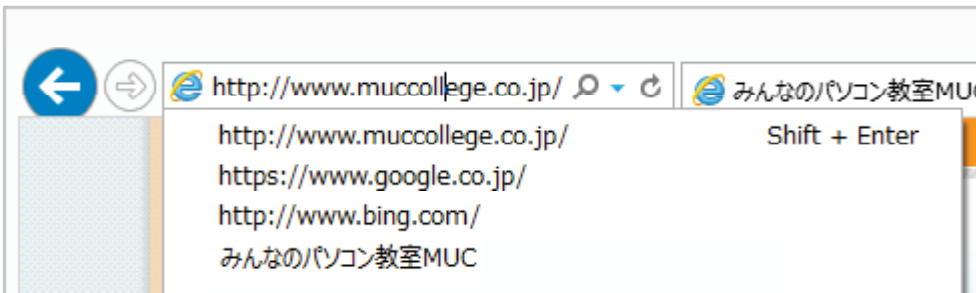


【検索ボックスとして利用】※キーワードを入力すると候補が表示

※候補が表示されない場合は「検索候補の表示を有効にする～」をクリック



【履歴やお気に入りを表示】

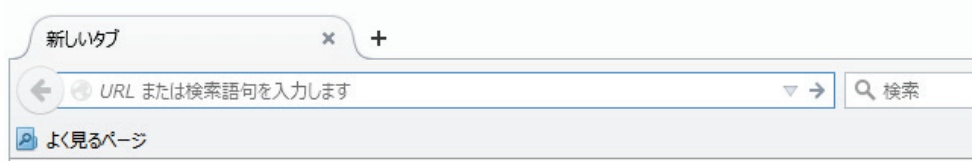


なお、これらの機能は、他のブラウザでもほぼ同じような操作感になっています。

【Google Chrome】



【Firefox】



1-3-4 Internet Explorer の終了


Internet Explorer の終了方法は、他のプログラム（アプリケーション）と同様です。
すでに他のプログラムを利用した経験のある方なら迷うことはないでしょう。

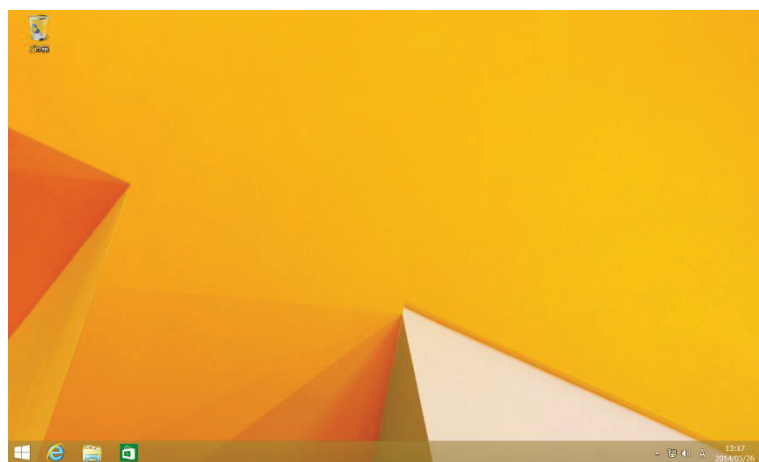
ここで行いたい内容は

Internet Explorer を終了しましょう。



①

ウィンドウ右上の《閉じる》ボタン
をクリックしましょう。



Internet Explorer が終了し、デスク
トップ表示に戻ります。

テクニック

キーボードの **Alt** を押しながら **F4** キーを叩きましょう。

| b~

再度 Internet Explorer を起動しましょう。

Chapter2 **WEB** 閲覧の基本操作

